

## Q 若者定住、少子化対策は

A 今後もさらに、定住促進につなげるための取り組みを強化していく。(三村町長)

本町は、「消滅可能性都市」の分類に含まれていなかったが、減少率が48・4%と、非常に高い数値が発表されている。これまでも子育て世代を対象とし、住宅購入費を助成する子育て定住促進助成金や乳児医療の対象年齢の拡大など、独自の取り組みを行っている。今後もさらに、定住促進につなげるための交流人口の増、町の子育て支援施策の情報発信など、取組みを強化していく。また、今後の国の動向も注視し、国が講じる支援策等を見落とすことなく活用していきたい。



荒瀧穂積議員

## 民法正則議員

2040年には、全国の約半数の896市区町村が消滅の危機に直面するという衝撃的な人口推計が公表された。本町も若年女性がほぼ半減すると試算されているが、今後の若者定住、少子化対策に対する施策を問う。



## Q 筆の里振興事業団

A 20周年記念の企画展では、国宝や重要文化財を含む日本の書を展示する。(三村町長)

理事会、評議員会では、書の展覧会の充実や、セレクトショップは営利を目的とするものではないので、熊野筆のPRに重点を置いて広く広報してほしいなど、建設的なご意見をいただいている。

理事会、評議員会の意見はどのようなものがあるか。

収益事業の利益処理については、健全な運営が努められていると考えている。

物販2億円余の利益の処理は。

20周年記念として開催する企画展「日本の書と筆の宇宙」は、国立東京博物館などの協力を得て、国宝や重要文化財を含む日本の書を展示する。企画展の広報は、5月に町内の各小中学校に案内をしており、再度、各小中学校と熊野高校に案内する予定にしている。

20周年記念「国宝展」の内容及び市民(特に小中高生)への普及は。

## Q 西公民館の跡地利用の概要

A 熊野団地地区の活性化に向けた整備を計画している。(三村町長)

また、新たな西公民館の建設やその他の整備により、集客機能を高めることで、熊野団地地区を中心とする坊主山商店街の活性化に向け、側面的な支援を図りたいと考えている。

## 片川学議員

高齢化しつつある西部地域への対策、定住促進、商店街を含め活性化へ向け伺いたい。

西部地域においては、西公民館の建て替えを機に、熊野団地地区の活性化に向けた整備を計画している。

## Q 町公共事業の入札について

A 契約事務の更なる適正化に努める。(内田総務部長)

契約に際しては、原則、契約価格の決定基準とする「予定価格」をあらかじめ設定する。競争入札契約は、主として指名競争入札の方法により締結する。指名業者は、指名業者選定委員会が、入札参加資格者の中から入札案件ごとに選定する。選定に際しては、過去の成績、入札案件の技術的な適性、同種契約の経験、技術者の状況等を総合的に勘案するなど、選定基準に従った審査を行う。いずれの方式においても、契約締結後は、監督職員等により監督業務及び完成検査を行い、契約の履行を確保している。また、入札結果の公表や、設計金額が130万円以上の建設工事について予定価格を事後公表するなど、契約事務の透明性を図っている。

## 片川学議員

入札のあり方を全般的に何う。事業発案から実行予算(見積り方法)、入札、発注実行までの経緯等。

## Q 筆の里工房の今後の展開

A 筆文化に関連した幅広いニーズに対応する展覧会や事業を展開していきたい。(三村町長)

これまでの実績を踏まえながら、引き続き日本の筆づくりの歴史に関する調査研究及び資料収集、書、絵画、工芸などの筆文化に関連した幅広いニーズに対応する展覧会や事業を展開していきたいと考えている。こうした、筆文化を理解し親しめる活動を通じ、筆の都のユニークなミュージアムとして、地域文化や地場産業の振興に貢献しつつ、将来の地域づくりを担う人材育成に資することも期待している。



山吹富邦議員

筆の里工房は、筆の里振興事業団への指定管理委託という形で運営しているが、今後どのような運営方針でどのような効果を期待しているか。

## Q 筆の里工房20周年と今後の振興

A 工房北側の公園整備については、今後、検討を進めていきたい。(三村町長)

筆の里工房内の休憩所、トイレの増設については、増築に伴う工事を行う場合は、建築基準法の基準の改正等、本体自体の工事を伴うことから、現状の施設規模での改築、増設を考えると、施設全体の利用の見直しなど検討すべき課題もある。また、筆の里工房北側の公園整備については、現時点ではないが、今後、検討を進めていきたい。



民法正則議員

筆の里工房は、この9月で開館20周年を迎えるが、現在の経営状況や工房内での休憩所、トイレの増設及び工房北側への公園整備計画について問う。